

タカブシギ（シギ科） 全長 20 センチ

9月5日、前回紹介したオオジシギと同じ田んぼにタカブシギ5羽が飛来した。

ここ大浦沼周辺は渡り鳥の中継地点として、多くの野鳥が訪れるところです。ユーラシア大陸の亜寒帯から寒帯で繁殖。日本には旅鳥として飛来し、越冬地へ移動する途中に立ち寄ったのでしょう。

鷹斑鳴と表記されるが「大橋弘一著・鳥の名前」によると、体上面の模様が鷹に似ていることが名前の由来となったようです。

後ろから背中模様を見ると全体が斑模様で覆われ、タカの羽に見えてきました。稲の切り株を突いたり、水田の泥の中を探りながらえさを探している。



小雨の中、じっと動きません。

主な餌は水生昆虫やオタマジャクシ、ミミズなどの小動物を食べているそうです。5羽はお互い離れず餌探しに夢中です。集団行動が強くて、離れ離れにはなりません。

翌6日に現地を訪れたが、既に飛び去ってしまい1羽もいませんでした。



もう1羽が近寄ってきた。



3羽になった。



後ろから見ると全体が斑模様でした。



突然羽ばたいた。